

惠庭市企画振興部企画・広報課

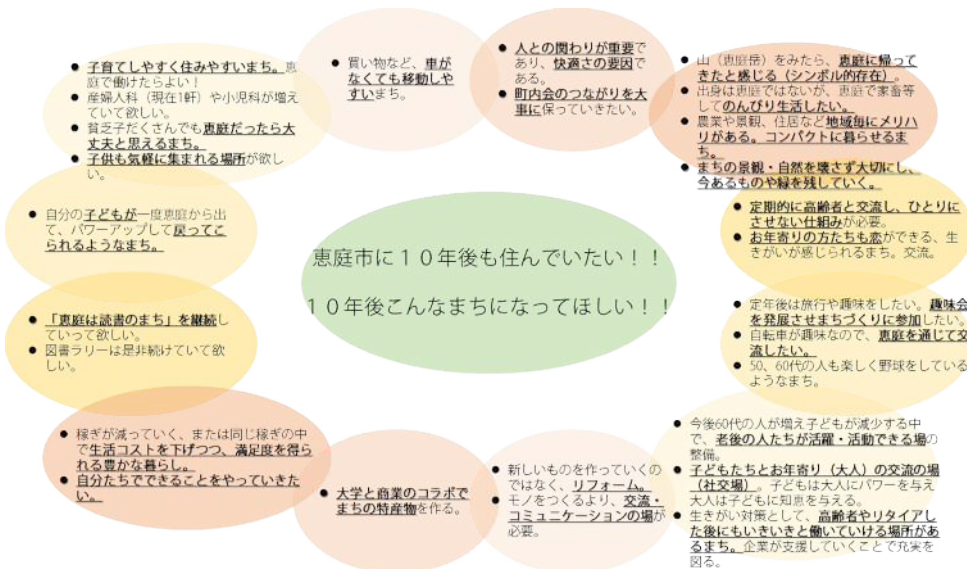
平成26年6月26日(木)に、恵庭市総合計画に係る市民まちづくりワークショップ(第2回)が開催されました。

第1回目に議論した「10年後こんなまちになってほしい」を踏まえ、それぞれの部会ごとの守備範囲の中で、恵庭市にはどのような「強み」と「弱み」があるのか議論しました。

(第5期)恵庭市総合計画

新しい総合計画の策定に向けて

(平成28年度～)



第1回ワークショップ意見整理	
10年後の将来像	具体的なキーワード
子育てしやすい住みやすいまち	- 子どもを生める - 子育てしながら働ける - 子育てしやすい - 子供が気軽に集まる
子どもが戻って来られるまち	Uターンなど
「読書のまち」などの教育施策の継続	「読書のまち」(図書ラリー)
自分たちでできることをやるQOLの高いまち	満足度を得られる豊かな暮らし
産官学民の連携	コラボでのまちの名物
既存のものを活かし、ソフト面に充実したまち	- リフォーム - 交流・コミュニケーションの場
老後、活躍・活動できるまち	- 子どもたちとお年寄り(大人)の交流の場(社交場) - 高齢者やりタイアした後にもいきいきと働いていける場所
趣味会を発展させ、恵庭を通じたまちづくり	定年後の旅行や趣味
高齢者をひとりにさせない仕組み	- 交流・高齢者の恋 - シンボリック的存在(恵庭岳) - のんびりした生活
まちの景観・自然を残して「帰ってきた」と感じるまち	地域毎にメリハリがある、コンパクトに暮らせる
人とのつながり、地域のつながりがあるまち	- 人との関わりが快適さの要因 - 町内会など
コンパクトシティ	車がなくても移動しやすい



部会	部会担当内容
①安心・安全部会	保健・医療・福祉・防災・行財政など
②希望と活力部会	都市整備・産業・観光・コミュニティ・市民協働・移住定住など
③子どもの未来部会	自然環境・教育・文化・芸術・スポーツ・子ども福祉など

- 「強み」: 活かしたいこと、自慢したいこと、住んでいて良かったと思うところ
- 「弱み」: 改善したいこと、残念なところ、本当は強みになるようなこと



第2回 市民まちづくりワークショップ 開催まとめ ～①安心・安全部会～

部会	部会担当内容	第2回WSの議題	
		強み	弱み
①安心・安全部会 保健・医療・福祉・防災・行財政など	防災	火事はボヤ程度が数件あるだけで比較的少ない(オール電化住宅が多いのか、空気が乾燥しているのか)	老朽化による損壊寸前の建物がある(公共施設は大丈夫)
		災害は少ない。(樽前山の噴火が川の氾濫がありうるが、今まで経験していない)	防災の意識が薄く、避難(防災)訓練も学校の児童しかやらない
	防犯	恵庭市は街路灯のLED化が進んでいる	何か災害があったときにはパニックになるだろう 人通りも車も少なく、夜道が暗くて一人で歩くのが怖い 街路樹が隙間無く生い茂っており、見通しが悪い 冬の雪山も、壁になって暗くて怖い
		高齢者の方々が児童の登校の見守りを行っている。(地域差あり)	町内会の関わりをもっと深く持つべきだ「向こう三軒両隣」 回覧板の回し方を考えて欲しい(向かいに住む人は顔は分かるが、名前がわからない。後ろに住んでいる方の顔を知らないが、名前がわかる) →顔見知りとは防犯につながる
		町内会の回覧板で介助が必要な方の情報が周知されており、それを介助出来る人を決めている地区がある。	
	福祉		老人福祉施設はすぐいっぱいになるため、高齢者住宅も建設されてきているが、入れる人も限られている
		公共の子育て支援施設は立派 柏地区に出来る新しい施設は子供にとって冒険出来るものが多く、期待出来る。	公共の子育て支援施設は、子供が遊ぶには遊具が安全すぎてつまらない。もっと冒険出来るものでも良いのではないか
		恵庭市の整形外科(人工股関節)は有名	全国から恵庭市の整形外科を利用する際に、「恵庭市」を検索して来院している 小児科と産婦人科は少なく、若い人は札幌か千歳へ通院している 子供の突発的な病気でも待たされる
	保健・医療	—	—
	人材育成	—	—
	行政サービス	以前、恵庭市で「恵庭だ券」という地域通貨があった 恵庭市の公共施設を利用するともらえるといった、ポイントサービスがあれば面白い	行政サービスは何をしているのか良く知らない 恵庭市のホームページも分かりづらい 全国的な知名度がない
		ゴミの分別が細かくキチンとなされている(環境への配慮) 高齢者のボランティアや地元企業によるゴミ拾いも行われている スポーツ、文化、町内会、サークル活動などによる市民活動が盛んだ	
	その他		忙しいのか人見知りなのか、町内会に関心が無い方が多い 町内会の活動は、一部の人しか参加せず、いつも参加する人は同じだ 町内の情報を発信しているけれど伝わらない 町内で流している情報を受け取るメリットを知らない 町内会の活動は、なかなか参加しづらい感じがある 子供は携帯やスマホ、DSの危険性が分からない 昨今では、学校やPTAの連絡網もメールやLINEで行われており、登下校通知用のICタグの導入を検討しているとも聞く 今の時代の情報機器に、親たちがついていけない 子供の安全を意識しすぎて過保護になりすぎ →大人びた子供が多い



第2回 市民まちづくりワークショップ 開催まとめ ～②希望と活力部会～

部会	部会担当内容	第2回WSの議題	
		強み	弱み
②希望と活力部会 都市整備・産業・観光・コミュニティ・市民協働・移住定住など	商業	美味しい飲食店が札幌から移転してくる	
			生活している場と店舗等が離れている
			車がないと不便
	農林業	農家の開発意識や開拓力が強い	こだわりの品は手に入らない
		農畜産物が豊富	農家をサポートする力が弱い
			特産物という割には「えびすかぼちゃ」は弱い
	工業 経済	子どもの頃から農業体験が出来る	特産物にインパクトがない
			工業用地は売れる土地が残っていない
		—	—
	観光	生活空間に小さな観光地がたくさんある	案内板が少ないから行き方がわからない
			観光客を回遊させるしくみがない
			宿泊施設が少ない
	都市基盤	えこりん村に「世界一大きなトマトの木」がある	
		農業体験が出来る	
		都会から近い田舎	田舎と言えるほどのロケーションでもない
		「花のまち」というイメージがしっかりある	都会の人を呼べるほどでもない
		交通アクセスが良い	暮らしている側からすると実感がない
		家の敷地が広い	街路樹や花壇の状態が酷い
		立地が良い	拠点を結ぶ交通が弱い
		必要なヒトやモノが揃っている	コンパクトシティだけど3つに分かれている
		本州から見たら大自然	
		気候が安定している(災害がなく、暑すぎず寒すぎず)	
	協働	水がきれいで美味しい	
			若者が集まれる場所がない
			恵庭、島松、恵み野が十分に機能していません、散在している
	市民自治	商品開発や食育など大学との連携が多い	
		市民活動が活発でしっかりしている	
		市民に潜在的な力がある(自発的に行ったガーデニングが有名になった)	
	その他	町内のまとまりがある	
		決定的な強みや弱みはないが、バランスが良い	子どもと高齢者がふれあえるイベントがない
		子育て環境が凄く良い	PRが下手
		のびのびした良い子どもが多い	
			市民が恵庭を知らない
			恵庭の良いところに市民が行かない、使わない
			素晴らしいことを当たり前だと思っている



第2回 市民まちづくりワークショップ 開催まとめ ～③子どもの未来部会～

部会	部会担当内容	第2回WSの議題	
		強み	弱み
③子どもの未来部会 自然環境・教育・文化・芸術・スポーツ・子ども福祉など	子ども	子育て支援センター、プレイセンターがたくさんあり、子どもを遊ばせる場所の選択肢がある	主婦と子どもがランチのできる場所が少ない。また、その情報を信じて行っても子どもの受入を行っていない店舗などがある。一方で母親の利用マナーにも問題がある。
		子育て支援等が充実している。	黄金南は人口が増加傾向にあるが、夜になると暗く、部活帰りの子どもなど防犯の面で不安に思う。
		妊婦講座などは良い取組だと思う。お父さんの参加率も比較的多い。	「市民力」が弱いのでは？親同士の連携力が不足しているように思う。
			親同士の連携力が不足しているため、個々の親が利害を超えて繋がれない。
			中学時代の部活で、農村地帯で通学バスが休みで通うことが困難なため辞めていく人が多いことがあった。
	教育	小中学校でやっている朝の10分間読書は良い取組だと思う。新しいものの見方、考え方が身につく。	島松の5町内の中で島松仲町は一番人口が少なく子どもの人数が減少している。
		恵庭市は、教科書のほかに副読本（社会の）があるので、そこで恵庭ならではの地域力としてコミュニケーション力を身につける。	恵庭のまちは大きくもなく小さくもないため、親同士の連携ができていない。
			無知なママにも教えてくれる何か（場所・情報など）が欲しい。
			母親のマナーが悪いことで子どもOKの店舗ができ難いのではと感じているが、母親としての一般常識が不足していて、それを教えてくれるところがない。
			コミュニケーション力の低下。顔を見て話やコミュニケーションをする機会が減っている。人の反応を見ながら話すことができなくなっている人が多い。
	文化	主婦のグチを意見にして取り上げる。恵庭はそれができるまちである。	子ども教育でコミュニケーション力をつける必要がある。意見をどう述べるかが必要なこと。
		まちの規模が大きすぎずちょうど良いため、個人の意見が通りやすい。	コミュニケーション力やスキルを備えることが必要。また、意見を言うだけでなく、相手を受け入れる力も必要。
		ブックスタート事業などをはじめ、施策面でしっかりしている。本のリサイクル市や読み聞かせなど（黄色いエプロンの会）の取組もある。	コミュニケーションの力→その基礎になっている町内会の位置づけや役割は重要。
		取組などについて広報、新聞などで特集をするようにしたらよいと思う！	町内会って何？ということの説明する、周知することを市で取り組んでもらいたい。
		イベントをやると団結力が生まれる。これが大事であり、継続していく力も必要。	町内会の役割や機能を分かっていない人が多い。
	スポーツ	「食育」、「本を読む」始まったのは前市長の時代で、良い種を残してくれた。	引っ越してきたら町内会長に挨拶に行くなどの良いしきたりがあったが、それを教えてくれる人が少なくなってきたため、町内会との関わりが希薄になってきている。
		図書館の利用率が高く、対応もとても親切。また、新刊など買わずに図書館で借りて読むことができる。	地域によって町内会の取り組みの違いがあり、意見があっても上がってこない。
		島松駅前通りで開催されるなご祭りは、パワーがすごく驚くほど人が集まる。	いろいろな市民活動があるが中身が分からない。
			世話好きなおばさん（しきりばあさん）が昔はいたが、今はなくなった。
			非常に有名ななご祭りがあるにも関わらず周知されていない、見ていない人が多い。
	生活環境	町内会（自治会）の名前を変更し、タウンコミュニティ〇〇（TCO）会などにしてみると良い。	ママの力や声→町内会へ反映→商業へと活かすことができる。経済の基本的な仕組みでもある。
		島松はまちの結束が強いので、どこか他の地域に頼る、ということがあまりない。	地域差もあるだろうが、町内会の集まりの雰囲気は若者が発言できる雰囲気ではない。
		若者の集まる新しい部会をつくる。	
		島松では町内で競う公民館運動会を継続して58回開催し、大変賑わっている。	
			—
	自然環境	道路が広い、景観が美しい、ガーデニングのまち。	—
		恵庭に住みたい人が多い。	子どもができる前の主婦は、出会いの場所がなく孤独を感じている人が多いと思う。
		交通の利便性がよく、札幌も通学圏に入る。	バスは走っているが、不便で車がないと生活が大変。
		新千歳空港が近く便利。	交通の利便性が良いため、札幌からも通えてしまうため住んでもらえない。
		消費→流通にも声が直接届きやすい地域の特徴があると思う。	東京までの利便性が良いがそれをどのように繋げていけるかが問題である。
	その他	札幌に比べると空間がゆったりしている。	島松仲町は、老人が増加している恵庭市の縮図のような地域。個人経営でやっている食堂などが少ない。
		医療施設関係や図書館などが充実している。	病院や図書館など恵まれているものがある一方で、そうでないものもある。
		病院・介護施設の待ち時間が少ない。	恵庭市はどこにお金を使って、どこを人口を増やしていきたいのか？が分からない。
		お年寄り夫婦が亡くなったところ（土地）に若い夫婦が入ってくるという良い流れが少しある。	子どもの数を増やしていかなければいけないし、高齢者も手厚くしていかなければいけない、どっちつかずの状態にあると思う。
			人口規模から見ると商圏ができていくまちである。人口が8万人以上になれば商圏ができると言われており、そのような状況になれば恵庭は変わってくる。
			健康で年をとっても病院にかからずにいられる環境づくり（個人の意識）が必要。